

# 2018年度(平成30年度)湯田小学校区保幼小連携

福山市立湯田保育所・福山市立湯田幼稚園・福山市立湯田小学校

## 1 はじめに

湯田保育所・湯田幼稚園・湯田小学校の3施設は、乳幼児・児童約1000名が同じ敷地内で学んでいる。

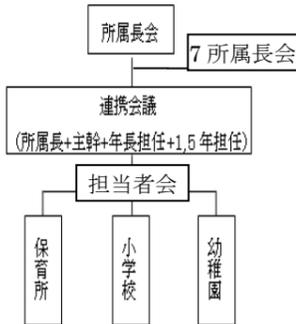
東日本大震災を契機にこの立地条件を生かした取組ができないかを連携・協議する中で、2012年(平成24年)から命を守る取組として「合同避難訓練」を始めた。

今年度で7年目を迎え、取組のキーワードを「安心(知っている友達がいる, 知っているお兄さん・お姉さんがいる, 知っている先生がいる, 先生が知っている, 異校種の先生がなかよしである)・安全(命を守る)」とし、「合同避難訓練」だけでなく、年長児と1年生・5年生が触れ合う「交流行事」の充実とともに、指導者の交流や研修等を進めてきた。

こうした取組を通して、年長児の小学校入学への期待やあこがれと、児童の思いやり・やさしさを育みたい。また、保育で育ててきた「探求の芽」を、小学校の「学び」につなげていけるよう指導者もつながりながら取組を進めていきたいと考えている。

## 2 目的

- 様々な交流活動を通して、幼児・児童の豊かな心を育むとともに、**学校教育への円滑な接続**を図る。
- 指導者が保育所、幼稚園、小学校(以下「学校等」という)の訪問を通して、**保育や教育内容を理解する**とともに、学校等の実践に生かす。



## 3 推進体制

- 所属長会  
3所属長が各行事の目的・方向性等を連携・協議する。
- 推進委員  
保育所・・・所長, 年長担任 幼稚園・・・園長, 年長担任  
小学校・・・校長, 主幹, 1・5年担任
- 連携会議  
行事前に推進委員を中心とした連携会議を必要に応じて開催し、目的を共有し交流行事の円滑な進行ができるようにする。
- 担当者会  
各行事の担当者が行事の運営等について打ち合わせを行う。
- 7所属長会  
湯田小学校区内にある7就学前施設の所属長が集まり交流する。

## 4 年間計画 (赤字は新規事業)

月	主な行事等
4月	3所属長会(4/10) ・今年度の基本計画確認, 新規取組(休憩時間交流, 職員同士の保育や授業見学, 顔合わせ会等) ・学校日より, 園長日より, 園だよりの交換(毎月)
5月	3所属長会 連携会議(5/25)(1.5年担任, 年長担任顔合わせ, 年間計画確認) <b>湯田小学校区7所合同会議</b>
6月	3所属長会(休憩時間交流, 保幼小交流) 連携会議(休憩時間交流, 保幼小交流) 保育所で年長児と卒所児1年生との交流 保幼小交流行事 <b>休憩時間交流(幼稚園)</b>
7月	3所属長会(保育所ランチミーティングについて) <b>幼稚園夏祭りに卒園児を招待, 卒園した1年生を迎える会, 小学校プール夏季合同研修</b> (講師: 大庭三枝准教授)
8月	連携会議(保育所ランチミーティング) 保育所ランチミーティング
9月	3所属長会(合同避難訓練について) 連携会議(合同避難訓練について)
10月	連携会議, 担当者会 保幼小交流会(人形劇鑑賞)反省会
11月	連携会議, 合同避難訓練, 保幼小5年生交流会 <b>幼稚園ランチミーティング</b> (幼稚園保育参観, 給食, 意見交換) <b>保幼小交流</b> <b>休憩時間交流(保育所・幼稚園)</b> 授業参観(小学校)
12月	3所属長会(2学期行事の反省)
1月	3所属長会(3学期行事の確認と1年生との交流について)担当者会 1年生との交流
2月	湯田小学校区7就学前施設との就学児童連携 <b>アプローチ授業(湯田保育所・湯田幼稚園)</b> 湯田小学校入学児童学校見学
3月	3所属長会(3学期行事の反省と次年度に向けて)

## 5 今年度の取組

命(安全)	<p><b>【合同避難訓練】</b></p> <p>◆3所で毎年出火場所を変更し小学校職員の保育所支援や職員の消火器訓練, その後, 5年年生と年長児の交流を行った。 ○事前の手続き役割分担, 進行等を丁寧に連携し, スムースに取り組むことができた。</p>	
交流1(安心)	<p><b>【5年生との交流】(休憩時間交流)</b></p> <p>◆各園所の卒園生が中心となり, 小学生が園所を訪問し日ごろ園児が楽しんでいる遊びを行った。 ○行事活動だけでなく日々の生活時間の中で楽しく活動できた。 ○5年生が園児を気遣い, 一緒に楽しむ姿が見られた。</p>	
交流2(安心)	<p><b>【1年生との交流】(保幼へ・小学校へ)</b></p> <p>◆園児は日頃の保育や興味関心のある遊びを, 1年生は年長さんに紹介したいことを自分達で考え交流した。 ○自分達で内容を考えさせた事で意欲を持って準備し, 自信や達成感を持つことができた。</p>	
交流3(安心)	<p><b>【保幼小交流】</b></p> <p>◆人形劇鑑賞の後, 交流遊びを行った。会場を交え年2回実施した。 ○同じ年齢の子ども達が一緒に遊び名前を覚え親しみが深まった。 ○指導者がその後の保育に活かすことができた。</p>	
連携(安心)	<p><b>【ランチミーティング(保幼)】【夏季研修】【アプローチ授業】</b></p> <p>◆保育参観や給食交流後の意見交換, 保幼小交流の意義を全職員で共有した。入学に向けて期待がもてるように行う。 ○参観・給食交流を通して保育内容や園児の発達段階や実態を観る事ができ, 連携の大切さを実感できた。 ○関係者が一堂に会し, 連携の意義を共通理解することができた。</p>	

## 6 成果(○)と課題(●)

### 【全体】

- 取組を継続することで実践の定着と改善が図られている。
- お世話をされていた園児がお世話をする学年になり, 交流を楽しみにする姿, 相手を気にする言葉, 姿を見かけた時に声を掛け合う様子等, つながりが見られ, 継続した取組の重要性を再認識することができた。
- 先生同士が園児や児童の発達段階を理解し, 子どもの「学び」の視点での実践交流を通して, アプローチ・スタートカリキュラムの取組を進めていく。